

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

18

地域支援協働課

| | | | | |
|----------------------|---|-------------|-------------|------------------|
| 補助金の名称 (規則・要綱名) | ふれんどバス運行事業補助金 | | | |
| | 西尾市ふれんどバス運行補助金交付要綱 | | | |
| 補助事業の概要 及び交付先 | 名鉄三河線(碧南～吉良吉田)の廃止代替バスであるふれんどバスを運行し、赤字部分に対して運行事業者である名鉄バス東部(株)へ補助金を交付し、路線の維持に努めている。 | | | |
| 補助金の額 | 平成28年度決算 | 平成29年度予算 | 平成30年度予算 | |
| | 33,868,000円 | 41,189,000円 | 40,060,000円 | |
| 分類 | 形態による分類 | 期間による分類 | 目的・性格による分類 | |
| | 国県協調補助金 | 継続的補助金 | 事業費補助金 | |
| 交付期間 | 開始年度 | H16 | 終了年度(予定) | 未定 |
| 見直し基準 1 共通事項 | ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か | | | 適切 |
| | イ 市が補助すべきものか | | | 補助すべきもの |
| | ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か | | | 明確 |
| | エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか | | | 適切(2017/03/16受理) |
| 2 個別事項 (1) 団体運営費 | ア 少額の補助金か | | | ***** |
| | イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか | | | ***** |
| | 平成26年度繰越金 | 平成27年度繰越金 | 平成28年度繰越金 | |
| | 0円 | 0円 | 0円 | |
| | ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか | | | ***** |
| | エ 事業費補助金に切り替えられないか | | | ***** |
| | ※ 検討していない理由 | ***** | | |
| (2) 補助対象経費 | 補助対象経費の3分の1以内か | | | 3分の1以上である |
| | ※ 補助対象経費の額 | 41,004,128円 | | |
| (3) 人件費補助金 (積算内訳) | ***** | | | |
| 3 今後の方向性 | 現行のまま補助を継続 | | | |
| | | | | |
| 4 終期の設定 | 補助金交付要綱等に終期を設定しているか | | | 設定していない |

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

18

地域支援協働課

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 補助金の名称 (規則・要綱名) | ふれんどバス運行事業補助金 西尾市ふれんどバス運行補助金交付要綱 | |
| ①総合計画施策コード | 章による分類 | 2 社会基盤 利便性と快適性を高める基盤づくり |
| | 項による分類 | 3 公共交通 |
| | 施策内容による分類 | 3 バスの維持・利便性の向上 |
| ②市長マニフェスト | 「くるりんバス」や路線バス等、地域公共交通の路線を再編し、地域内を巡回して買い物や病院へ通える「いこまいカー(乗合タクシー)」で補完することで、交通弱者が生まれない交通体系を構築します。 | |
| ③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載) | 将来利用者見込数(平成32年度)は300,000人としている。 | |
| | 上記目標は、適切な目標が設定されているか。 | 設定されている |
| ④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。 | 現在利用者数(平成29年度)は290,367人である。 | |
| | 補助の終了年度までの目標を達成できているか。 | 進捗が見られる |
| ⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。 | 名鉄三河線(碧南駅～吉良吉田駅)廃止後の地域住民の生活交通を確保するために開設した路線であり、主に鉄道への接続や沿線高等学校への通学に利用されている。 | |
| | 市税の使い道として、受益者に偏りはないか。 | 偏りはない |
| ⑥補助金の交付先を記載してください。 | 名鉄バス東部株式会社 | |
| ⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。 | 鉄道廃止区間を補う路線であり、鉄道路線がなくなった旧一色町を經由して広域的に鉄道駅へつなぐ目的のほか、沿線高等学校への通学に欠かせない路線となっている。 | |
| | 上記内容は、公益性の観点からどうか。 | メリットがある |
| ⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。 | 実績報告書 | |
| | 上記内容は、補助金の交付先として適格か。 | 適格である |
| ⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。 | 制定年月日 | 平成16年12月01日 |
| | 改定年月日(最終) | 平成30年07月01日 |

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

18

地域支援協働課

| 項目 | | 平成28年度決算 | 平成29年度決算 | 平成30年度予算 | |
|----------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 補助金の額等 | 補助金支出額 | 33,868,000円 | 34,532,000円 | 40,060,000円 | |
| | 補助件数 | | | | |
| | 財源 | 国庫県費 | | | |
| | | その他 | | | |
| | | 一般財源 | 33,868,000円 | 34,532,000円 | 40,060,000円 |
| 国庫県費等の名称 | | | | | |

補助金等検討委員会の評価

| 目標 | 達成度 | 公平性 | 公益性 | 妥当性 | 効率性 | 適格性 |
|---|-------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。 | 目標を達成できているか。実現に近づいているか。 | 受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。 | 社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。 | 成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。 | 手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。 | 補助金の用途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。 |
| B | C | B | B | B | B | B |
| 評価結果 | 補助金等検討委員会 | | 補助金検討委員会からのコメント | | | |
| | 現状維持 | | これからも創意工夫を凝らしバスを維持していただきたい。 | | | |
| 補助金等検討委員会の主な意見 | | | | | | |
| 高齢者対策として、デマンドタクシーや民間企業などと連携し、市の負担が少ない方法を検討していただきたい。 | | | | | | |
| 公共交通は高齢化社会の中で福祉施策としても検討していただきたい。 | | | | | | |